



● 草の根パートナー型

平成22年度第2回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ラオス
2. 事業名	短期職業訓練トレーナー育成のための職業訓練プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	ラオスでは2020年までに後発開発途上国から脱却することを目指し、2003年に国家貧困撲滅計画が策定された。職業訓練の普及も重要な戦略とされている。本事業ではそれに呼応し職業訓練を通して人々の生計能力の向上を図り、経済的自立を支援する。先行プロジェクトでは理美容・調理・縫製の3分野で初級（2か月間）・中級（3か月間）コースの教科書・カリキュラムを完成させた。本プロジェクトでは内容・教科書等が未整備のOJTを中心とした上級コース（6か月間）に重点を置いた支援を行い、地方に設立されている新しい職業訓練所のトレーナー育成も図る。また本プロジェクトでは先行プロジェクトのカウンターパートであるヴィエンチャン都教育局（VED）に加え、全国を対象とする職業教育開発センター（VEDC）もカウンターパートとする。
4. プロジェクト目標	地方の県及び郡の短期職業訓練センターのトレーナーが育成される。
5. 対象地域	ヴィエンチャン都
6. 受益者層	ラオス全国の15歳から40歳までの青年男女600人～900人
7. 期待される成果及び活動	<p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 上級コースが職業教育開発センター（VEDC）に新設される 2. ヴィエンチャン都教育局（VED）及びVEDCの人材（コーディネーター、上級トレーナー）が育成される 3. カリキュラムや教材が改善され、教育省（MOE）により承認された後、関係機関に配布・利用されている 4. VED及びVEDCの上級コースに地方（県及び郡）の短期職業訓練所のためのトレーナー候補生が参加し、終了後、初級・中級トレーナー育成コースに参加する道筋ができる 5. （VED及びVEDC上級コースの）OJT店舗経営が軌道に乗っている <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. VEDCにコーディネーター等必要な人材を配置する。 2. 上級コース運営マニュアル作成、上級トレーナー候補者をタイの職業訓練所に派遣、日本もしくはタイの専門家による研修等を行う。 3. 上級コースのカリキュラム・教材を作成、初級・中級コースのカリキュラム・教材を改善しMOEの承認を得た後、印刷したものを全国の関係機関に配布。 4. 初級・中級トレーナー育成コースを行う。 5. 広報活動に努め、OJT店舗の集客数を増加する。
8. 実施期間	2011年12月～2016年11月まで（5年）
9. 事業費概算額	91,154千円
10. 事業の実施体制	実施団体ラオス事務所が現地で事業の運営にあたり、ラオス教育省学校制度外教育局及び技術職業教育局の協力のもとヴィエンチャン都教育局および職業教育開発センターをカウンターパートとして共に事業の運営にあたる。
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人 国際協力NGO・IV-JAPAN
2. 活動内容	ラオス・タイでの職業訓練プログラムの実施、農村開発、小学校建設、奨学金支給等。